

TikTok Japanの取り組み

1. 違法情報の流通・拡散対策(投稿の削除等の対応の迅速化・透明化)

① 個人の権利を侵害する情報の削除、アカウントへの対応

- TikTokでは、権利侵害を含むコミュニティガイドライン違反のコンテンツに対し、削除やアカウント停止等の対応を行なっています。
- 3ヶ月に一度、コミュニティガイドライン実施レポート(透明性レポート)を公表し、権利侵害を含むコミュニティガイドライン違反コンテンツの削除等の対応について透明性を確保しています。
- コミュニティガイドライン実施レポートでは、世界におけるコンテンツ削除数の上位50カ国について、各国の総削除数に占める、削除の根拠となったガイドライン項目ごとの割合も、公表しています。
- <https://www.tiktok.com/transparency/ja-jp/community-guidelines-enforcement-2025-2>

② その他の違法情報の削除、アカウントへの対応

- TikTokでは、違法情報を含むコミュニティガイドライン違反のコンテンツに対し、削除やアカウント停止等の対応を行なっています。
- また、3ヶ月に一度、コミュニティガイドライン実施レポート(透明性レポート)を公表し、違法情報を含むコミュニティガイドライン違反コンテンツの削除等の対応について透明性を確保しています。
- コミュニティガイドライン実施レポートでは、世界におけるコンテンツ削除数の上位50カ国について、各国の総削除数に占める、削除の根拠となったガイドライン項目ごとの割合も、公表しています。
- <https://www.tiktok.com/transparency/ja-jp/community-guidelines-enforcement-2025-2>

③ 投稿削除申出の受付方法の整備と明確化

- 以下の通報窓口を設置し、公表しています。
 - 著作権侵害: <https://www.tiktok.com/legal/report/Copyright>
 - 商標権侵害: <https://www.tiktok.com/legal/report/Trademark>
 - その他権利侵害および違法情報
 - こちらのウェブサイトで、通報方法を公開しています。
 - <https://support.tiktok.com/ja/safety-hc/report-a-problem>

④ 投稿の削除対応のための社内体制整備

- TikTokでは、すべてのユーザーとコンテンツに適用される「コミュニティガイドライン」を策定し、公表しています。

- 当ガイドラインに従い、全ての動画を24時間365日体制で審査し、ガイドライン違反のコンテンツは、削除等の対応を行なっています。

⑤ 投稿の削除等に関する基準の公表

- TikTokでは、すべてのユーザーとコンテンツに適用される「コミュニティガイドライン」を策定し、公表しています。
- 当ガイドラインに従い、全ての動画を24時間365日体制で審査し、ガイドライン違反のコンテンツは、削除等の対応を行なっています。

⑥ 投稿の削除等実施後の発信者への通知

- アプリ内通知、アカウントステータスの確認画面への表示
 - コミュニティガイドラインに違反してコンテンツが削除された場合、アプリ内通知により、ユーザーに通知しています。
 - その通知において、どのコミュニティガイドラインに違反したかについても明示して、削除の理由をユーザに知らせています。これにより、重ねて同じ違反をすることを防ぐとともに、モデレーションの透明性を確保しています。
 - また違反の履歴は、アプリ内のページであるアカウントステータスの画面で、確認することができます。
- 「インサイト」画面への表示
 - コンテンツがおすすめフィードの対象外となった場合、投稿した動画をユーザー自身で分析できるアプリ内の「インサイト」画面に、その旨が表示されます。
 - その表示において、どのコミュニティガイドラインに違反しておすすめフィードの対象外となったのかを明示して、対象外となった理由をユーザーに知らせています。これにより、重ねて同じ違反をすることを防ぐとともに、モデレーションの透明性を確保しています。

2. 偽・誤情報の流通・拡散対策

2-1 偽・誤情報等への適切な対処

① 偽・誤情報への対応等

- コミュニティガイドラインにおいて、個人や社会に重大な危害を与えかねない誤情報は、投稿者の意図にかかわらず禁止されています。コミュニティガイドライン違反のコンテンツには、削除等の対応を行なっています。
- 正確性が確認できないコンテンツについて、以下のとおり情報が正確でない可能性があることを表示し、ユーザーに慎重な行動を促す機能を実装しています。
 - 「信ぴょう性未確認」ラベル

信ぴょう性の低いコンテンツを含むと判断された動画に、「信ぴょう性が未確認である」ことを表示するラベルが付されます。

- 「変化の激しい出来事」ガイド

紛争に関する用語などを検索すると、「変化の激しい出来事」であることを示すガイドが表示され、公式の情報源を確認することを促します。

② 組織的偽装行為(影響工作を含む。)に関する情報の削除、アカウントへの対応

- コミュニティガイドラインにおいて、「隠れて影響力を及ぼす活動(Covert Influence Operations (CIO))」は禁止されています。TikTokでは、ユーザーがこれらの不正なアカウント行為に関与していると判断した場合、アカウントを停止します。
- TikTok透明性センター「隠れて影響力を及ぼす活動」において、把握した活動の詳細や削除したアカウントの数を、月毎に公表しています。
- <https://www.tiktok.com/transparency/ja-jp/covert-influence-operations>

2-2 コンテンツ表示に関する情報提供及びユーザーによる管理設定機能の提供

- レコメンドされた理由の表示
 - 動画を長押しして表示される「なぜこの動画？」をクリックすることで、その動画がおすすめされた理由を、ユーザーが確認できます。
- レコメンドシステム/モデレーションの仕組みと、ユーザーが仕組みを調整する方法について、積極的な情報公開
 - 専門家が、動画審査の実践や、レコメンドシステムに関する情報にアクセスできる「透明性・説明責任情報公開センター」を開設
 - レコメンドシステムの仕組みと、ユーザーが仕組みを調整する方法について解説するWebページを設置し、積極的に情報を公開
- 「TikTokが「おすすめ」に動画をレコメンドする仕組み」
 - <https://newsroom.tiktok.com/how-tiktok-recommends-videos?lang=ja-JP>
 - https://www.tiktok.com/support/faq_detail?id=7543897458892577336&category=web_account
- 「TikTokの「おすすめ」フィードに動画がレコメンドされた理由を知るには」
 - <https://newsroom.tiktok.com/why-a-video-is-recommended-for-you-jp?lang=ja-JP>
- 「コンテンツカスタマイズ機能」「コンテンツレベルシステム」
 - <https://newsroom.tiktok.com/content-level-system?lang=ja-JP>

2-3 プラットフォーム事業者の役割とクリエイターや利用者からの信頼の確保

- 選挙における情報流通の健全性の確保
 - 政治広告と、政治的コンテンツの収益化の禁止
 - TikTokでは、政治的な有料広告の出稿は禁止されています。また、政党・政治家のアカウントは、収益化機能の利用も禁止されています。
 - コンテンツ上に、選挙に関する信頼できる情報源にリンクするバナーを表示
 - 選挙・投票に関連するキーワードが含まれている動画には、信頼できる情報源に遷移するバナーを自動的に表示
 - 選挙に関する検索結果に、信頼できる情報にリンクするバナーを表示
 - 選挙に関するキーワードの検索結果画面に、①信頼できる情報を確認しようというメッセージと、②信頼できる情報源に遷移するバナーを表示

3. 情報の真正性の向上に資する取組(信頼のおける情報の提供等)

- 災害時の情報流通に関して、24時間365日、常に最新の気象・防災情報をライブ配信している気象情報番組「ウェザーニュースLIVE」と連携しています。
- 日本国内で震度5弱以上の地震が観測されると、日本のTikTokユーザーに対して自動的に緊急地震速報をプッシュ通知します。プッシュ通知をタップすると「ウェザーニュースLIVE」の画面に遷移し、災害に関する信頼できる情報にアクセスできます。

4. ステークホルダーとの連携・協力に向けた取組、ICTリテラシー向上に関する取組

4-1 ステークホルダーと連携・協力、情報の真偽確認に資する取組等

① 多様な視点から情報を補完するユーザー参加型の注釈機能や適切な判断に資する情報の提供

- AI生成コンテンツに、投稿者がラベルを表示できる機能
 - ユーザーがAI生成コンテンツを投稿する際には、AI生成コンテンツである旨を明示することを義務付けています。
 - さらに、ユーザーによる迅速なラベル表示を促すため、ボタン一つで使用できる「AI生成」ラベル表示機能を実装しています。

② コンテンツの来歴(プロブナンス)と真正性の促進

- コンテンツの出所と信頼性に関する標準化団体Coalition for Content Provenance and Authenticity (C2PA)と連携し、C2PAの「コンテンツクレデンシャル

ル(Content Credentials)機能」機能を動画プラットフォームとして初めて実装。他のプラットフォームで作成されたAI生成コンテンツにも自動的にラベル付けを実施しています。

- <https://newsroom.tiktok.com/partnering-with-our-industry-to-advance-ai-transparency-and-literacy-jp?lang=ja-JP>
 - 透明性と責任ある共同行動のためのフレームワークに参加
 - AIの透明性と責任あるイノベーションのためのフレームワークである「Partnership on AI」の Responsible Practices for Synthetic Media に参加
- ③ 外部の専門機関・研究機関等との連携
- TikTokは50か国語以上をサポートする、国際ファクトチェックネットワーク(International Fact-Checking Network)公認の20以上のファクトチェック機関と連携しています。

4-2 ICT リテラシー向上に関する取組

- アプリ内で、楽しみながらTikTokの安全機能を学ぶことができる「Well-being Missions(ウェルビーイングミッション)」
 - <https://note.com/tiktok/n/nfcb2e3f659b4>
 - <https://newsroom.tiktok.com/tiktok-safety-updates?lang=ja-JP>
- #みんなで守ろうネットコミュニティ
 - クリエイターが専門家から学んだ内容をもとに、自身の言葉でネット上の課題を啓発するショート動画を制作し発信しています。
 - https://www.tiktok.com/tag/%E3%81%BF%E3%82%93%E3%81%AA%E3%81%A7%E5%AE%88%E3%82%8D%E3%81%86%E3%83%8D%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%B3%E3%83%9F%E3%83%A5%E3%83%8B%E3%83%86%E3%82%A3?is_from_webapp=1&sender_device=pc
- クリエイターと学ぶ!『みんなで守ろう「ネットコミュニティ」ハイスクール』
 - インターネットとの上手な付き合い方をクリエイターとともに学ぶ映像学習教材です。
 - ガイダンス: <https://www.youtube.com/watch?v=pofv0mly2mc>
 - 1限: https://www.youtube.com/watch?v=86wnRK_hxIs
 - 2限: <https://www.youtube.com/watch?v=n7wNLXofUFI>
 - 3限: <https://www.youtube.com/watch?v=dX5vObd9dWg>
 - アフタートーク: <https://www.youtube.com/watch?v=dX5vObd9dWg>
- 保護者向けガイド
 - <https://www.tiktok.com/safety/ja-jp/guardians-guide>
- クリエイター向け「偽・誤情報対策ワークショップ」

- <https://note.com/tiktok/n/n82802214c5f9>

5. ユーザーの真正性の確保

- アカウント認証による、ユーザーの真正性を担保する仕組み
 - https://www.tiktok.com/support/faq_detail?id=7581820707722811960
- TikTokのプラットフォームを欺いたり、操ったりしようとするアカウントは許容されません。また、人為的にエンゲージメントを増やしたり、おすすめシステムを欺いたりするサービスの取引も許容されません。このような不正行為を行うアカウントが発覚した場合には、アカウントの永久停止等の措置を行なっています。
 - <https://www.tiktok.com/community-guidelines/ja/integrity-authenticity>